

2022年

11月11日(金)

購読のお申し込み 06-6201-5012(代) hanbai@sen-i-news.co.jp

発行所 ダイセン株式会社 大阪本社 〒541-0051 大阪市中央区富後町3-4-9 輸出経済会館8階 TEL(06)6201-5012 Fax(06)6226-0106 E-mail webmaster@sen-i-news.co.jp 東京本社 〒101-0036 東京都千代田区神田北豊町11 豊物町中央ビル4階 TEL(03)5289-7003 Fax(03)5289-7233 中部・北陸支社 TEL(052)451-3850/ 中国・西蔵支社 TEL(086)224-0250 上海支店 / 蘇州商務諮詢(上海)有限公司 TEL86-21-5670-1910

繊維ニュース

www.sen-i-news.co.jp

オーダーニットジャケットで新事業

オーダーニットのOEM/ODM事業は、生産をタイトウボウ(福原本宮市)に進性を訴求する。共同開発した「オーダーニットジャケット」は、糸に梳毛を引き入る(総毛を仕立て)から製造を開始した。タイトウボウと紳士服のジャケットをオーダーを第一弾として提案す。紡織(現タイトウボウ)と製造販売する本宮三東(福原本宮市)の仕組を提案できる先。ジャケットは、シルの共同出資で設立され、ク混ツイード調の生(も)イタリソフトスーでも提案できるように素材のバリエーションを広げ、アイテムの種類を増やしていく方針。かつて日本の毛織会社ホワとの協力を関係も維持した老舗と、地方の縫製企業グループの連携により、新しいファッションスタイルに向けた事業創出を目指す。

大手老舗と地方の紳士服縫製が協業

タイトウボウと紳士服のジャケットをオーダーを第一弾として提案す。紡織(現タイトウボウ)と製造販売する本宮三東(福原本宮市)の仕組を提案できる先。ジャケットは、シルの共同出資で設立され、ク混ツイード調の生(も)イタリソフトスーでも提案できるように素材のバリエーションを広げ、アイテムの種類を増やしていく方針。かつて日本の毛織会社ホワとの協力を関係も維持した老舗と、地方の縫製企業グループの連携により、新しいファッションスタイルに向けた事業創出を目指す。



協業のオーダーニットジャケット

タイトウボウ本宮三東スー

カジュアル化の流れでスーツ離れが加速する中、手軽に羽織ることができるニットのジャケットの需要が高まっている。そのニットのジャケットをオーダーメイドで展開し、新規ビジネスの創出を目指す企業間連携が始まった。(強田裕史)

軽量で着やすいニットの特徴を生かしながら、イタリアンクラシックをベースにしたシルエットを作り上げ、大人の装いにも対応する。

2023年1月から受注を開始する予定。ウールを使った秋冬向けのアイテムからスタートするが、今後は春夏に向けた提案できるように素材のバリエーションを広げ、アイテムの種類を増やしていく方針。